

氏名	城 戸 信 行
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 4 6 0 号
学位授与の日付	昭和44年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	血管条毛細血管系の微小循環並びにそれに及ぼす Histamine の影響に関する実験的研究
論文審査委員	教授 高原 滋夫 教授 山崎 英正 教授 緒方 正名

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

モルモット蝸牛の骨壁に開窓し、ウルトロパーク装置を用いた落射照明により、顕微鏡下に血管条毛細血管を中心とする蝸牛微小循環の動態を観察した。通常の流れは一定で、極めて安定していたが、Histamine (0.01%) を血管 (局所) へ作用させる事により、一部血管の血流の途絶並びにその末梢部の血流方向の逆転を来した。又 Histamine の筋注では細動脈血流のみが一過性に緩徐化したのみで毛細血管血流には変化を示さなかったが、静脈内への薬物投与により全身血圧の急激な低下 (一過性の) と平行して蝸牛全血流の急減速、次いで急加速、そしてゆるやかに正常化の過程を辿ったが、毛細血管血流は早期に正常に復した。

以上の点より、モルモット蝸牛の微小循環においては、毛細血管血流を中心として、それを安定に保持するべく血流統御が行われている様で、種々の影響も細動脈その他の血管部分で吸収され、毛細血管血流には変化を生ぜしめぬ様になっていて、例え全身的な高度の変化により一時的に影響されても、早期に且つ容易に回復する傾向を認めた。

論文審査の結果の要旨

本研究は、耳鼻咽喉科領域におけるめまい、難聴と関連した内耳血流の動態を顕微鏡下に観察し、特にヒスタミンの及ぼす影響について重要な知見を得ると共に、内耳血流の安定性を説明したもので価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。